

科目区分	専門教育科目	科目名	保育者論		科目コード	17Y370	担当者	山本 尚史			
対象学生	幼児教育学科2年生	学期区分	後期	単位数	2	卒業要件	選択				
						免許・資格要件	幼稚園教諭必修、保育士必修				
科目の主題						学修成果との関連（大◎、中○、小△）					
幼児や社会から求められる保育者の役割などについて事例などを参考に、その立場に立った自分を思い描き、自分なりの保育者像を考えてゆく						1. 「 <u>尽心</u> 」 誠実な人柄と人間力	2. 「 <u>創造</u> 」 高度な知性と創造力	3. 「 <u>実践</u> 」 明確な意思と実践力			
科目の到達目標						① 誠実性・真摯性	② 多様性・協働性	③ 知識・技能	④ 思考・表現・判断力	⑤ 実行力・自立性	⑥ 就業力・貢献力
1.	保育職の意義や保育者の役割を理解する					◎	◎	○	◎	◎	○
2.	保育の仕事や研修の必要性について理解する					◎	◎	○	◎	◎	○
3.	社会で求められる保育者について考察する					◎	◎	○	◎	◎	○
4.	目指す保育者像を考察する					◎	◎	○	◎	◎	○
5.						◎	◎	○	◎	◎	○
授業方法						成績評価の方法と割合					
配布する資料を用いながら講義を行う。ディスカッションではグループで討論経過を報告します。また、1年生との合同フィールドワークでは1・2年相互に聞き取りを行い、自分の教育観・保育観の発見につなげます						受講態度（15%） 提出物（85%）					
準備学修						課題等への対応					
講義の資料等はファイルに綴じて毎週振り返って下さい。子どもに関わるニュース等に積極的に触れて下さい。また、根源的な問いである「保育者とはどのような存在か？」について常に意識し、自らの目指す保育者像について考えてください（毎週60分）。						レポート等の課題については、適宜添削し、教員と学生、学生同士の意見交換に役立てるようにします。					
授業計画											
第1回	授業説明、オリエンテーション										
第2回	保育者とは										
第3回	保育者の職務・倫理を考える										
第4回	子ども理解										
第5回	子どもの育ちの援助方法										
第6回	保護者・家庭とのつながり										
第7回	地域社会との関わり										
第8回	保育者の協働性										
第9回	教育・福祉の関係性を考える										
第10回	ディスカッション（新制度下の保育）										
第11回	保育者を目指す自分を見つめる										
第12回	1年・2年合同フィールドワーク 相互聞き取り調査										
第13回	1年・2年合同フィールドワーク 相互聞き取り調査										
第14回	1年・2年合同フィールドワーク 相互聞き取り調査										
第15回	ディスカッション（保育者になることとはどういう意味を持つのか）										
教科書・参考書						受講生へのメッセージ					
資料を配布します						自分の目指す保育者はどのような存在なのか、自分の思い、考えを確かめていきましょう。ディスカッションやフィールドワークでは積極的な参加が求められます。グループの仲間と協力して受講して下さい。 保育者として責任ある態度で受講すること。提出物等の提出期限、そして授業中の私語等、「先生」と呼ばれる者に相応しくない受講態度については、厳しい姿勢で臨みます。保育者を目指す者の自覚と覚悟を持って受講してください。					